

～市が尾駅周辺地区バリアフリー基本構想を策定しました～

**基本構想に基づく市が尾駅周辺のバリアフリー化が進みます！**

横浜市ではバリアフリー法に基づき、各区の拠点駅周辺など高齢者、障害者等がよく利用する施設のある地区を対象とし、各区 1 地区を目標にバリアフリー基本構想の策定を進めています。この度、青葉区の区総合庁舎や福祉保健活動拠点などの施設がある市が尾駅周辺地区で策定しました。これにより市内 18 区中 17 区の策定が完了しました。

～バリアフリー基本構想とは～

公共交通機関、道路、公園、高齢者や障害者等が利用する公共的な建築物等のバリアフリー化を、重点的かつ一体的に推進するため、実施する事業等を定めた構想です。

地域の高齢者、障害者、ベビーカー利用の方や、学識経験者、公共交通機関等の事業者の方々と平成 26 年 8 月から約 1 年半検討を重ねてきました。

約 60 人が参加したまちあるき点検



ワークショップによる地区の課題整理

1ヶ月間行った  
情報募集では、  
過去 10 年で最高の  
229 件ものご意見を  
頂きました！



青葉区マスコットキャラクター  
なしかちゃん

**1 市が尾駅周辺地区の基本構想に位置付けた主なバリアフリー化の取組**



**市が尾駅へのホームドア設置**

**分りにくい視覚障害者誘導用ブロックの改修**

**歩道上の傷んだインターロッキングブロックの改修**

**音響式信号機等の設置**

**横断歩道手前に水平区間を確保**

**横浜上麻生線の電線類の地中化**

**排水溝のふたのピッチを車いすやベビーカーの車輪がはまらない、目の細かいものへ交換**

重点整備地区  
生活関連経路 (整備等を行う経路)  
整備の一例

【横浜市地形図複製承認番号 平27建都計第9013】

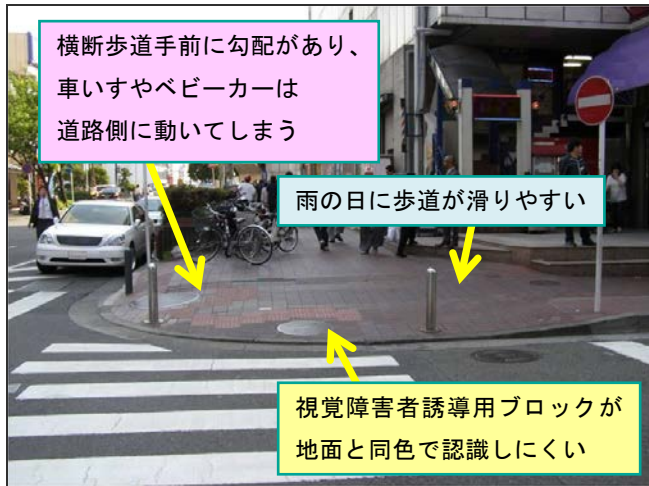
裏面あり

## 2 今後の流れ

今後は、東京急行電鉄株式会社、東急バス株式会社、神奈川県公安委員会、国土交通省関東地方整備局川崎国道事務所、横浜市道路局や、建築物の管理者など、各事業者がバリアフリー基本構想に基づいて事業計画を策定し、原則平成32年度までを目標に事業を実施していきます。

### 《参考》 バリアフリー化のための事業の実施例

(1) 道路（中区・関内駅周辺地区バリアフリー基本構想）  
整備前



整備後



車いす利用者や視覚障害者の方も、安全に通行できるね

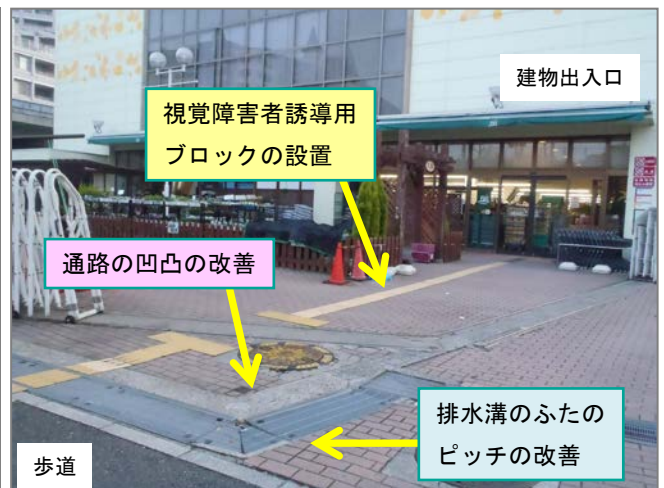


道の水平区間の確保、透水性舗装の整備により、安全で歩きやすい歩道となりました。また、視覚障害者誘導用ブロックの改善により、横断歩道の位置や横断方向がわかりやすくなりました。

(2) 建築物（栄区・本郷台駅周辺地区バリアフリー基本構想）  
整備前



整備後



誰もが入りやすい建物になったね



通路の平坦性の改善や排水溝のふたの改善により、歩きやすい通路が確保されました。また、視覚障害者誘導用ブロックの設置により、歩道から建物出入口までの経路が、わかりやすくなりました。

#### お問い合わせ先

道路局企画課 計画調整担当課長	石井 高幸	Tel 045-671-2937
青葉区区政推進課 担当課長	郷間 宏	Tel 045-978-2349